

2021 年 10 月 4 日

通貨ニュース

メキシコ: Banxico が 3 会合連続で利上げ

メキシコ中央銀行(Banxico)は 9 月 30 日、金融政策決定会合を開催し、政策金利(翌日物金利)を 25bp 引き上げて 4.75%とすることを決定した(図表 1)。利上げは 6 月以降、3 会合連続。声明文によれば、決定は前会合に続き、多数決によって行われた。5 名の委員のうち 4 名が利上げを主張しており、前会合より 1 名増えた。1 名は引き続き据え置きを主張した。

Banxico が追加利上げに踏み切った理由は、従来と同様に、足許でのインフレ圧力が予想以上に長期化しうることへの警戒感だ。8 月の消費者物価指数(CPI)は前年比+5.59%と 4 月(同+6.08%)をピークに徐々に減速しつつあるとはいえ、6 か月連続で同行の目標レンジ(前年比+2%~+4%)を上回った。また、9 月前半の CPI は同+5.87%と再加速の兆しをみせている。

先々のインフレ見通しについても、Banxico が実施している月次市場サーベイでは、じりじりと上方修正が続いている。9 月下旬に行われた市場サーベイでは、市場の CPI 見通しは 2021 年が前年比+6.26%、2022 年は同+3.84%と前回サーベイ結果(それぞれ同+6.06%と同+3.79%)から引き上げられた。

Banxico も声明文で、インフレ率が同行の目標値(前年比+3%)に落ち着いてくる時期を「予想期間の最後までには(by the end of the forecast horizon)」とした。8 月会合以降は声明文に四半期毎の CPI 見通しを示す図表が添付されることになったが、これを基にすると 2023 年 7~9 月期には同行の目標値(前年比+3.0%)にほぼ収斂することになる。ただし、前回会合時には 2023 年 1~3 月期としていたので、一段と後ずれした格好だ(図表 2)。また、インフレリスクの方向も引き続き上方にあるとの認識を維持している。

そして、声明文では、Banxico は足許の物価上昇を加速させた要因について一時的なものになると考えているものの、その多様性や規模のほか長期化しつつあることも念頭に、価格形成プロセスおよびインフレ率見通しにリスクをもたらす可能性があると考え、警戒感を示した。

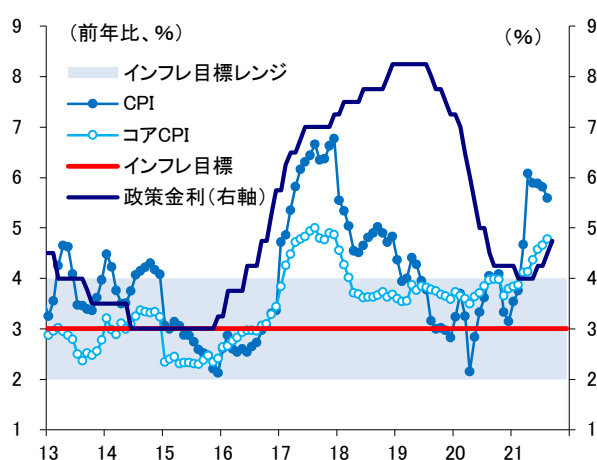
Although the shocks that have increased inflation are expected to be transitory, due to their variety, magnitude, and the extended horizon over which they have affected it, they may pose risks to the price formation process and to inflation expectations.

これらを踏まえて、今会合でも以下の通り、インフレ見通しの上振れを回避し Banxico の目標値に収斂させていくには利上げが必要とまとめている。

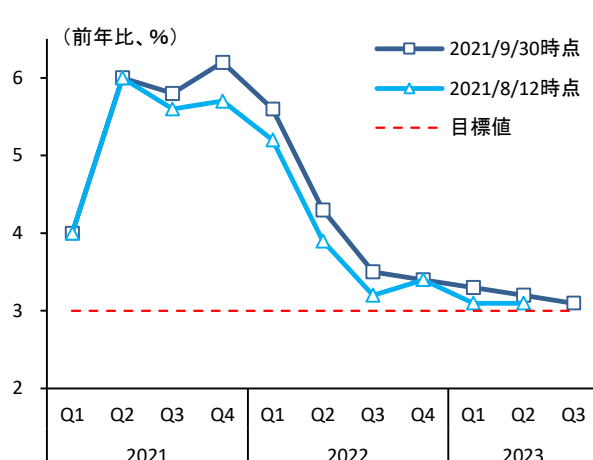
In order to avoid such risks, it was deemed necessary to reinforce the monetary policy stance by adjusting it to the trajectory required for inflation to converge to its 3% target within the forecast horizon.

市場営業部
マーケット・エコノミスト
堀内 隆文
03-3242-7065
takafumi.horiuchi@mizuho-bk.co.jp

今後の Banxico の政策運営については、当面は追加利上げ含みで考えている。インフレ圧力の背景にある資源価格高や世界的なサプライチェーンの乱れは根強い。このあたりは、同国の9月製造業 PMI の入荷遅延指数の改善の遅れや、仕入れ価格指数の水準も示唆するところである(図表3)。一方で、販売価格指数や新規輸出受注指数の軟化からは、需要面での下押し圧力も生じつつある可能性が読み取れる(図表4)。実際、足許にかけて発表された経済指標には、市場予想を下回るものが目立ち始めている。期待されたコロナ禍からの回復局面の一服感もしくは腰折れ感が警戒され、徐々に追加利上げが難しくなる局面にも備えておきたい。特に、2022年から Banxico 総裁を担うエレラ前財務公債相の見解や判断が注目される。

図表1: 政策金利とインフレ率


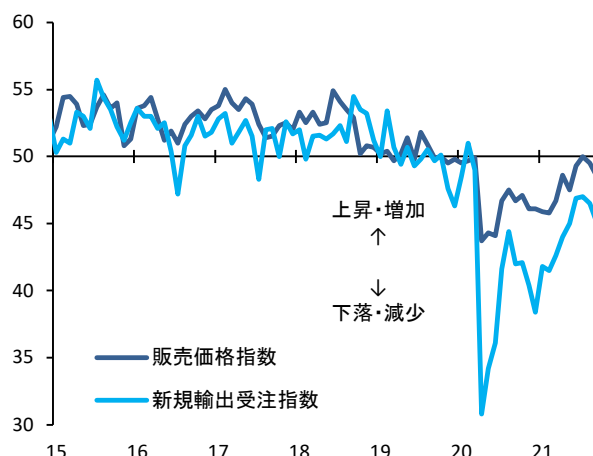
出所: メキシコ中央銀行、地理統計院、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表2: Banxico の CPI 見通し


出所: メキシコ中央銀行、みずほ銀行

図表3: 製造業 PMI 入荷遅延指数と仕入れ価格指数


出所: IHS Markit、CEIC、みずほ銀行

図表4: 製造業 PMI 販売価格指数と新規輸出受注指数


出所: IHS Markit、CEIC、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。